ちょい寄り 彩の国

第19回

羽生水郷公園（さいたま水族館）

自然と人を繋ぐ水郷公園

宝蔵寺沼ムジナモ自生地

水と人が共生する“水郷のまち”にある公園

埼玉県北東部、利根川と荒川の流域に広がる羽生市は、古くから水とともに暮らしてきた地域です。水運・農業・湿地の生態系が重なり合うこの土地には、独自の自然文化が育まれてきました。そのような環境のある羽生市三田ヶ谷に位置するのが羽生水郷公園です。

羽生水郷公園は総面積約53.6ヘクタールの広大な水辺のある公園で、池・湿地・草原が連続する自然環境を持っています。都市部からのアクセスも良く、休日には家族連れや散策を楽しむ人々で賑わい、平日には静かな水辺の風景が広がり、地域住民の憩いの場として親しまれています。

公園内には芝生広場、湿地観察路、池の周囲を巡る散策路が整備され、春の新緑、夏の涼、秋の紅葉、冬の静寂と、四季ごとに異なる表情を楽しめます。特に11月は、水辺に映る紅葉や澄んだ空気が公園の魅力を最大限に引き立て、都市部では得難い体験を提供します。

珍しい水生食虫植物「ムジナモ」の自生地

羽生水郷公園内の湿地環境には、希少な食虫植物であるムジナモの自生地があります。ムジナモは細長い葉の先端に“捕虫器”を持ち、水中の小さな生物を捕らえて栄養を補う独特の生態を持つ植物です。国内では自生地が限られ、環境省レッドリストでも絶滅危惧種に指定されています。

羽生市ではムジナモ自生地の水質管理や植生保全の取り組みを通じて、ムジナモが生育できる環境を維持しています。このような希少植物の保全活動は、地域の自然環境を未来へつなぐ重要な役割を果たしています。湿地を散策する来訪者にとっても、ムジナモの存在は“水郷のまち”羽生の自然の奥深さを感じられる学びの要素となっています。



水生植物園 メタセコイヤ紅葉



さいたま水族館外観



羽生水郷公園マップ

淡水魚専門館としての希少性と教育価値をもつさいたま水族館

羽生水郷公園内に併設されたさいたま水族館は、淡水魚専門の水族館として全国的にも珍しい存在です。埼玉県の川に生息する魚を中心に、約 100 種・3,000 匹以上を展示し、地域の自然環境を“そのまま学べる”施設として高い評価を得ています。海水魚中心の一般的な水族館とは異なり、淡水魚の生態や環境保全をテーマにした展示は教育的価値が高く、環境学習の場としても活用されています。

埼玉県の河川環境を再現した水槽では、コイ・フナ・ナマズ・オイカワなど、身近でありながら普段はじっくり観察する機会の少ない魚たちが生き生きと泳いでいます。

館内には、人気者であるコツメカワウソを間近で観察できる「カワウソの渓流」も設けられています。水辺を軽やかに動き回る姿は子どもから大人まで幅広い来館者に親しまれ、淡水域に暮らす生き物への興味を自然と引き出してています。

また、「日本一の金魚の産地・埼玉」を紹介するコーナーでは、江戸時代から続く金魚文化や県内の養殖業の歴史を知ることができます。

さらに、絶滅危惧種の保全活動にも力を入れています。特に埼玉県の希少種であるムサシトミヨの保護・繁殖は全国的にも注目されており、自治体・研究機関・市民団体が連携する地域モデルとして評価されています。こうした取り組みは、企業の環境教育や SDGs 研修の題材としても活用され、地域資源を活かした学びの場としての価値を高めています。


ムサシトミヨ

地域経済に寄与する環境・観光資源

羽生水郷公園とさいたま水族館は、単なるレジャー施設ではなく、地域経済に寄与する複合的な資源として位置づけられています。

公園と水族館をセットで楽しむ“半日観光”は県内外から人気を集め、羽生市の観光消費を支える重要な柱となっています。

● 観光消費の創出

来訪者は年間約 25 万人規模とされ、周辺の飲食店・物産施設への波及効果も大きいとされています。市内の和菓子店や農産物直売所、道の駅はにゅう、羽生 PA（鬼平江戸処）などとの回遊性が高く、地域の観光消費を底支えしています。

● 教育・研修需要

企業の環境研修、学校の社会科見学、大学のフィールドワークなど、学習目的の来訪が増加しています。淡水魚の生態や水辺環境の保全は SDGs の「陸の豊かさ」「水の豊かさ」に直結するテーマであり、企業の CSR 活動との親和性が高い分野です。

● 地域ブランドの形成

羽生市は「水郷のまち」としてのブランドを強化しており、水族館はその象徴的存在です。自然環境・歴史文化・教育資源が一体となった公園は、地域の魅力発信の核として機能しています。

秋～冬のイベント情報

▶特別展「Gold Fish Science ～金魚から科学する～」

期間　10/10（土）～ 1/11（月・祝）

場所　さいたま水族館特別展示



今回は金魚が美しく見える理由や鱗の色等について、科学を通じて紐解いていきます。金魚と人の関わりなどを知ることで、様々な角度から生き物を見る大切さや、深く知ることの楽しさを伝えます。

▶秋のわくわく水族館まつり

日時　11/8（日）10:00 ～ 15:00

場所　羽生水郷公園　芝生広場

料金　一部の体験は有料



秋のわくわく水族館まつりでは、はたらくくるまの展示や金魚すくいのほか、小さなお子様も楽しめるイベントが盛りだくさんです。



▶冬のイルミネーション

日時　12/12・13（土・日）
19:00 頃まで（予定）

場所　さいたま水族館



いつもの開園時間を少し延長し、今年もさいたま水族館のイルミネーションを実施します。
お楽しみに！！

羽生水郷公園（さいたま水族館）

■開館時間　2/1~11/30　9:30~17:00（最終入館受付 16:30）
12/1~1/31　9:30~16:30（最終入館受付 16:00）

■入館料

	特別企画展 期間中	特別企画展期間外
大人	（高校生以上）500 円	（高校生以上）400 円
小人	（小・中学生）200 円	（小・中学生）100 円
未就学児	無料	無料

その他休館日等につきましては、ホームページにてご確認願います。



アクセス

お車でお越しの方　東北自動車道羽生 IC から栗橋方面へ約 3 ㎞（所要時間約 5 分）
無料駐車場（2 カ所）（開門時間：午前 8 時～午後 6 時）

電車でお越しの方　東武伊勢崎線羽生駅または加須駅から約 7 ㎞
・タクシー利用で約 15 分　・無料送迎バス（運行日限定）
・市内循環バス 200 円 / 回（平日限定）